

バーチャル 見学ツアー VIRTUAL VISIT

科学技術館 クスリウム

実空間を3Dスキャンできる最新鋭の特殊カメラで、くすりの種類や歴史など様々な情報を発信している「科学技術館 クスリウム」を撮影。展示室をウェブ上に3Dで再現しました。通路をクリックすれば施設内部を自由に移動でき、様々な角度から閲覧することができます。バーチャル見学ツアーで、これまでの360度映像とはひと味違った「まるでその場にいるかのような見学体験」をお楽しみください。

新しいくすりはどうやって開発される？ くすりのいろいろ、学びにいこう！

ダミーコピーです。オフセット輪転機の増加は、1986年に年間62台だったものが、87年で一挙に3倍の186台になり、翌年には、210台とさらに伸び、89年には前述のように2年連続で200台を越す勢いとなった。印刷工場やオフセット輪転機がここ数年の間に増え、制作工程の革新が進んできた背景には、より鮮度の高い情報や紙面品質の向上に対する読者や広告主ニーズの高まりが上げられる。かつて、新聞の制作工程は、読者が書

いた原稿を活字組みにして、紙型をとり、鉛の合金をこれに流し込んで刷版とし、この鉛でできた「重い刷版を凸版輪転機にセットして、ようやく印刷に入るといように、何段階ものステップを踏み、多くの人手を介在させるものであった。これは、長い年月をわたって続けられてきた制作工程であったが、1970年末から80年代に至って、新しい技術にとって多くの人手を介在させるもの新聞制作のCTS化である。

展示室の内部は
ワクワクがいっぱい。
今すぐアクセス！



▶ PC・スマホ・VRゴーグルなど様々なデバイスからアクセス可能！詳しくは <https://www.asahi.com/ads/virtual/>

